

---

## LS1 オリンパス株式会社

6月13日(火)／June 13 (Tue) 11:50～12:40  
B会場(2F 橋)／Room B (2F Tachibana Conference Hall)

1. 局所紫外線照射法を用いたDNA修復タンパク質のイメージング解析  
菅澤 薫(神戸大学バイオシグナル総合研究センター 教授)

---

## LS2 カールツァイスマイクロコピー株式会社 「細胞生物学のための新たな顕微鏡技術」

座長：貝淵 弘三(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

6月14日(水)／June 14 (Wed) 11:50～12:40  
B会場(2F 橋)／Room B (2F Tachibana Conference Hall)

1. 神経細胞の極性形成機構  
船橋 靖広(名古屋大学大学院医学系研究科 助教)
2. 細胞生物学のためのハイスループット・微細構造イメージング  
佐藤 朗(カールツァイスマイクロコピー株式会社)

---

## LS3 ライカマイクロシステムズ株式会社 「超解像イメージング技術の進歩と細胞生物学への応用」

司会：田中 晋太郎(ライカマイクロシステムズ株式会社)

6月14日(水)／June 14 (Wed) 11:50～12:40  
C会場(2F 萩)／Room C (2F Hagi Conference Hall)

1. 岡田 康志(理化学研究所生命システム研究センター／東京大学大学院理学系研究科 教授)

---

## LS4 シスメックス株式会社 「故 西塚泰美博士 講演記録上映」

司会：吉田 智一(シスメックス株式会社 執行役員 中央研究所長)

6月15日(木)／June 15 (Thu) 11:50～13:00  
C会場(2F 萩)／Room C (2F Hagi Conference Hall)

1. 細胞シグナリングの研究—医学の発展と科学の伝承—  
解説：吉川 潮(神戸大学バイオシグナル総合研究センター 教授)

## 第69回 日本細胞生物学会大会

オリンパス(株)ランチョンセミナー  
プログラムNo:LS1

# 局所紫外線照射法を用いた DNA修復タンパク質の イメージング解析

**日時** 6月13日 [火] 11:50~12:40

**会場** 仙台国際センター会議棟 2F 橋(B会場)

**演者** 菅澤 薫 先生

神戸大学バイオシグナル総合研究センター 教授

### — 新製品 共焦点レーザー走査型顕微鏡FV3000のご紹介 —



共焦点レーザー走査型顕微鏡  
FV3000

#### 主な特徴

- 新型分光システム TruSpectral と冷却 GaAsP PMT による圧倒的な明るさ
- 超高速イメージングを実現するレゾナントスキャナー
- マクロからミクロ(超解像)まで広い倍率レンジでのシームレスなイメージング

**OLYMPUS**<sup>®</sup>

Your Vision, Our Future

第69回日本細胞生物学会大会 ランチオンセミナー  
カールツァイスマイクロスコーピー株式会社

## 細胞生物学のための新たな顕微鏡技術

プログラムNo.LS2

**日時** 6月14日(水) 11:50~12:40

**場所** B会場(橘)

## 神経細胞の極性形成機構

**講演：船橋 靖広 先生**

名古屋大学大学院医学系研究科神経情報薬理学

**座長：貝淵 弘三 先生**

名古屋大学大学院医学系研究科神経情報薬理学

細胞生物学のためのハイスループット・微細構造イメージング

佐藤 朗 /カールツァイスマイクロスコーピー株式会社



カールツァイスマイクロスコーピー株式会社  
TEL 03-3355-0332 E-mail microscopy.ja@zeiss.com

**URL** <http://www.zeiss.co.jp/microscopy>

営業所: 東京/大阪/名古屋/福岡/仙台





第 69 回日本細胞生物学会大会

ライカマイクロシステムズ株式会社 ランチオンセミナー

## 超解像イメージング技術の進歩と 細胞生物学への応用

日時 6月14日(水)11:50~12:40

会場 C会場(萩)

演者 **岡田康志** 先生

理化学研究所 生命システム研究センター

細胞動態計測コア 細胞極性統御研究チーム チームリーダー/

東京大学大学院理学系研究科 物理学専攻 教授

超解像イメージング技術は常に進歩を続けています。ライカ TCS SP8 STED 3X はパルス発振の 775nm レーザーを STED 光に用いることで、従来の gated STED をさらに超えた 30nm の平面分解能を達成する、pulsed STED へと進化をしました。純光学的に細胞のダイナミクスをナノスケールで捉え、超解像イメージング専用で新規開発された 93x/1.30 GLYC motCORR 対物レンズと組み合わせることにより、かつてない 3次元、マルチカラー、ライブセル超解像ナノイメージングを実現します。また、共焦点光学系と超解像アルゴリズムのハイブリッドにより光学分解能を超える、ライカ TCS SP8 HyVision2 は、共焦点イメージングの新たなスタンダードとなる、先進の超解像イメージング技術です。本セミナーでは、最先端の超解像イメージング技術と、その細胞生物学的応用について、理化学研究所生命システム研究センター/東京大学大学院理学系研究科 岡田康志 先生にご紹介いただきます。

第 69 回日本細胞生物学会 シスメックス株式会社 共催  
ランチオンセミナー

2017 年 6 月 15 日(木) 11:50~13:00  
仙台国際センター会議棟 2F 萩(C会場)



故 西塚泰美博士 講演記録上映

細胞シグナリングの研究 —医学の発展と科学の伝承—

(2004 年講演)

解説: 神戸大学バイオシグナル総合研究センター教授  
吉川 潮

司会: シスメックス株式会社 執行役員 中央研究所長  
吉田 智一



西塚泰美博士(1932-2004 年)は、シグナル伝達に中核的な役割を果たす酵素、プロテインキナーゼ C(PKC)の発見者として著名な研究者です。さらに PKC の上流・下流領域のシグナル伝達経路の解析を行い、脂質代謝と細胞内シグナル伝達とを結ぶ全く新しい概念を示すことにより、従来知られていなかった細胞制御機構を明らかにしました。その業績は国際的に高い評価を受け、研究内容は現在、一般の教科書にも記載されています。

本セミナーでは、結果として博士最後の講演となった『細胞シグナリングの研究 —医学の発展と科学の伝承—』より、脂質代謝から細胞内シグナル伝達へと至る研究領域の進展を概説している部分を、編集して上映します。

これは、2004 年 9 月 30 日に、神戸大学で医学系研究科大学院生を対象として行われた講義で、講演音声にスライド画像を配した全容は、シスメックス株式会社が 2009 年に教育的な活用を目的として発行した西塚泰美博士講演記録集 “Selected Lectures of Dr. Yasutomi Nishizuka” (非売品) に、他 3 件の講演とともに収録されています。

シグナル伝達という概念の形成から PKC 発見に至るエピソードも含めて、新たな研究分野が開拓されていく様子を、博士の講演からご覧いただければ幸いです。